

令和7年3月25日

275号

北の療育



- **特集** 新しい年に想う一職員からメッセージー
- **連載** いのち、そして普遍的な人権とは③

北の療育 275号

● 巻頭随想

- ・巳年に相応しく、明るい未来が展望できる年、
実りのある年を願って — 丸山 静男 — 1

● 連載 いのち、そして普遍的な人権とは —文化の違いを乗り越えて、新たな地平に辿りつけるか— ＜第3回＞

- ・アメリカ・シアトルでの重度の障害をもつお子さんの子育て、
福祉支援の経験をお聴きして／早川 武彦氏、寺尾 孝士氏、他 — 7

● 特集 新しい年に想う

- ・～職員からのメッセージ～ — 23

● グラビア ・今年も会いたいあの笑顔

- ～各事業所からみなさんへ届けます！～ — 34



● サンプルーム・秋から冬の療育活動

- ・写真班の活動・笑顔あふれる表情、楽しそうな一瞬の表情を一枚でも多く残したい
— 北海道療育園 — 丸山 慎一 — 39
- ・楽しい時間を一緒に — 美幌療育病院 — 佐々木雅由美 — 41

● 旭川通園だより

- ・今日も通園バスは走ります！ — 嵯城 健二 — 43

● つつじの里だより

- ・ダンスレク／つつじの里クリスマス会／くじ引き大会・スライドショー 他 — 45

● 自閉症支援の先進的施設見学報告及び

- 令和6年度自閉症スペクトラムトピックセミナーを終えて — 本間 敬紹 — 47

● らせん

- ・コミュニケーションの力とお口の機能を高めて、
生活に活気！体調安定！を — 佐藤 史佐 — 49

CONTENTS

2025.3

■ ワークセンターぴぼろ

● 新年のご挨拶～想い繋ぐ～

・ワークセンターぴぼろ・あすなる保護者会 会長 ——— 猪崎十紀枝 — 51

● あすなる通信

・ふれあい広場／カレンダー巻き／クリスマス 他 ——— 内田 久勝 — 52

● ぴぼろだより

・利用者健康診断／園庭散策／道東知協職員in留辺薬 他 — 浦野 紘史 — 53

● 相談支援センターぱれっと

・活動報告 ————— 加藤 佑基 — 55

● みち

・令和7年の新年にあたって ————— 齋藤 忠義 — 57
特定非営利活動法人 とらいあんぐる事務局通信

・年頭のご挨拶 ————— 長野 聡幸 — 61
美幌療育病院父母の会事務局通信

・「いろいろ復活」 ————— 植村 規 — 63
つつじの里利用者と歩む家族の会事務局通信

● 令和6年の法人・各事業所 主な出来事 ————— 67

● ご厚意ありがとうございます

・寄付金一覧 ・物品寄贈一覧 他 ————— 74

・職員異動一覧 ————— 74

インフォメーション

・謹賀新年 社会福祉法人北海道療育園 ————— 5

・春光台雪まつり、5年ぶりに開催！

— 冬的一天、雪合戦や雪像づくり、みかん拾いなどに300人が集う！ — 22

・作業療法作品の紹介「視線でお絵描き」第六療育課 畠山輝光さん — 38

・サカイトシノリ先生と原田和香さんが来園、棟内に絵を描いていただきました！ — 59

・旭川市多様な働き方推進事業者として表彰を受ける！ — 60

・各業者様からクリスマスプレゼントをいただきました！ — 60

・20周年記念の寄付で福祉車両を購入！ — 62

・つつじの里へ、職員互助会より、AEDを寄贈！ — 64

・コラム 50年と一週間／蒔田明嗣 — 65



巳年に相応しく、 明るく未来が展望できる年、 実りのある年を願って

丸山 静男

皆様、明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願っています。

今年は巳年ということであります。巳は蛇（へみ）の略で、脱皮をするへびのイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。即ち、「脱皮し（つまり古いものを脱ぎ捨てて）新しく生まれ変わる」さらには「将来・未来がある」など、明るい未来が展望できる年であります。

更にへびは私たちの仕事とも関係が深いのです。医学・医療の神といわれるアスクレピオスがいつもへびが巻きついた杖を持っていたことから、この杖は医療の象徴となり、多くの医療関係団体のロゴにも広く用いられているところであり、今年は医療とも関係の深い年と言えましょう。今年一年これら多くの良い縁起にあやかり、明るく「実りのある年」にしたいものと願っております。

昨年は内外共につらいニュースが溢れたような年でありました。

国内では元旦早々の能登半島地震はまさに大震災であり、その復旧は今日なお遅々として進まないと聞いております。被災者の方々には申し上げる言葉とありません。ただただ、お見舞い申し上げます。加えて日本列島は、経験したことのない大変な猛暑、更には線状降水帯発生による集中豪雨災害が、これも、あるうにか能登半島をはじめとして全国各地で頻発するなど、自然を荒廃させて平然たるわれわれ人間の傲慢

さに地球も耐えかねてきたのではと、つくづく思わせる気象状況となつてまいりました。当然の事ながら、うち続く国外の紛争、戦争はいよいよこれらの状況を悪化させ、憂慮に堪えません。人類が叡智をもつて地球環境の保全、回復に努力することを願わずにはおられません。

さて、当法人は昨年、かけがえのないお二人をお見送りいたしました。

安倍洋子名誉顧問、岡田喜篤名誉理事長のお二方であります。

安倍名誉顧問は、北海道療育園の名付け親であり名誉顧問であられたご尊父岸信介先生ご逝去のあと就任され、三十五年間にわたり法人全体を温かく見守って頂きました。享年九十五歳でいらつしやいました。

岡田名誉理事長は二〇一三年・理事長、二〇二〇年・名誉理事長に就任され、長きにわたり法人を牽引して頂きました。享年八十九歳でございました。

岡先生ともご長命であられたとは申せ真に痛恨のきわみでございます。

いまは、ただただご冥福をお祈り申し上げるばかりであります。

昨年は、このような辛いお話ばかりではなく明るいニュースも、もちろんございました。

旭川市では、北口榛花さんのパリオリンピック金メダル獲得という快挙がありました。

彼女の稀有な人となりとも相俟つて、日本中を明るくしてくれたように思います。

法人では、旭川、美幌、つつじの里、それぞれのお祭りもだんだんと復活し参加者も増加し、盛大に行われるようになってまいりました。花火大会も旭川で久しぶりに規模を大きくしておこなわれ大いに盛り上がり、美幌では前年同様国道に見物の車が連なつたと聞いております。

本年はさらに多くの行事が盛大に行われるようにと期待しております。また、昨年五月より稼働を始めた美幌の太陽光発電は、予測通りに順調に稼働し大いに貢献しております。オホーツクブルーに代表されるオホーツク、美幌の素晴らしい気象条件が後押ししてくれているのは言うまでもありません。

さて、本年の目玉は新年度からの稼働を目指している旭川での電子カルテの導入であります。長きにわたり旭川の皆さんが熱望し、この数年担当の方々が頑張ってきたご努力により、ようやく実現の運びとなりました。十

分その機能を活用し園の運営に生かしていただきたいと思っています。思いもかけぬ不測の事態への対策を十分に立てておく事も当然であります。どうぞ宜しくお願い致します。

旭川、滝川の通園事業所も昨年四月の障害福祉サービス改定を受け、定員変更などにより運営の改善をはかっているところであります。

この数年言い尽くされてきた感のあることではありますが、日常生活を危うくする円安や物価の狂騰、歯止めのかからない少子高齢化と人口減に伴う如何ともしがたい深刻な人手不足と人件費の高騰などなど、まったく先の見えない時代になってまいりました。北海道は特に深刻であります。ラピダスによる千歳市における次世代半導体国産化の事業は、その重要性は理解しつつも、さて私のような人間には、果たしてちゃんと作れるのだろうか？とか、考えられないような大量の水を必要とするようだが大丈夫？など荒唐無稽なことまで考え、良い面があまり見えてきません。どころか人手の多くは持っていかれ、人件費はじめ諸物価がいよいよ高くなる事だけは、はつきりと目に見えているのであります。実際、大きな事業体による大きな新築プロジェクトの中止、大幅延期などのニュースが全国あちこちから聞こえてまいります。残念ながら、これが我が国の厳しい現状なのであります。

したがって、待ったなしになっている旭川の建て替え問題ではありますが、これらの状況に鑑み、ただ今は慎重に多方面から分析を進め、悔いを後世に残さないよう努めねばと検討しているところであります。よろしくご理解とご協力を頂きたいと思えます。

振り返れば、この四、五年間で人類はコロナ、悲惨な戦争、紛争、飢餓、難民問題、災害の頻発などなど、深刻な悲劇を体験してきたところであります。

それを受けての厳しい日常の環境は、特に医療、福祉、教育等の世界に大きな影響を与えます。事実、各種事業所の倒産や不祥事等多発などの報道が多くみられます。

当法人もコロナでは大、中、小のクラスターの発生、それに伴う様々な思いもかけぬ困難な問題発生への対応など、全職員の皆さんが大変つらい経験をなさったことだろうと思います。しかし、それらを一丸となって乗り

越えた今日、皆さんの日常に接して私は思うのです。

当法人の職員の皆さんの日頃の精励ぶりは実に素晴らしもので、私は、従前にもまし大いに誇りを持っている事であります。それは、法人理念に謳われる「利用者と職員の基本的人権がともに守られる施設運営」を基本にして、同じく理念に謳う「利用者が主人公である施設づくり」の精神（こころ）が職員の皆さんには特に意識せずとも滲みわたっているからだ、日頃の仕事をみて心底思っているのです。

今後ますます、その「こころ」に磨きをかけて、ご利用者の皆様と共に歩んで頂きたいと願っております。さすれば巳年にふさわしく、当法人に明るい未来が展望されることと信じております。

最後になりましたが、旭川、美幌、つつじ、滝川の皆さんのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして新年のご挨拶いたします。



晴天・冬の石狩川

●まるやま・しずお

社会福祉法人北海道療育園・理事長・医師